

| Title        | 日本語エディタ(NEDIT)                           |
|--------------|--|
| Author(s)    | 中島,重雄                                    |
| Citation     | 大阪大学大型計算機センターニュース. 1983, 51, p.<br>51-77 |
| Version Type | VoR                                      |
| URL          | https://hdl.handle.net/11094/65588       |
| rights       |  |
| Note         |  |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

## 日本語エディタ (NEDIT)

#### 業務掛中島重雄

1. 概 要

日本語エディタは、画面端末<sup>注1)</sup>を用いて、日本語データ、英数カナデータのテキストファイ ルの作成、編集、保守処理を行うサブシステムである。また、これらテキストの行、文字列ある いは文字単位での追加、削除、置換修正処理を、画面上のカーソル位置付けによって直接的に行 える。

#### 1.1 日本語エディタによる編集処理の流れ



?? TSS処理

注1) N6300モデル20A/50N(ETOS-31K, ETOS-52), N5200モデル05(PETOS31K)。

### 2. 日本語データ

日本語エディタは、日本語データ(日本語文字または漢字文字ともいう)を従来の英数カナ文 字(ANK文字ともいう)と同時に編集を行う。編集処理は、つぎの形式の日本語データ、英数 カナ文字のデータレコードに対して可能である。

- (1) 日本語データは、「JIS C 6226」で規定されるコード及びその拡張コードから構成され る。詳細は、「ACOS-6 日本語情報処理システム概説書」を参照されたい。
- (2) 英数カナ文字は、1文字が1バイトで表現される。日本語データは、1文字が2バイトで表現される。



(3) 日本語データの先頭と終わりに、"漢字 IN","漢字 OUT" と呼ばれる漢字シフトコード (それぞれ 2 バイト)が存在する。



 (4) 英数カナ文字と日本語データは、1レコード内に混在が可能である。英数カナ文字と日本語 データの区別は、漢字シフトコードで行う。



ANK文字

日本語データ

ANK文字

注) "漢字 IN" "漢字 OUT" は画面には表示されない。

### 3. メニュー画面と定常画面

(1) メニュー画面

NEDITコマンドを入力すると、下のようなメニュー画面が表示される。

日本語エディタ パラメータ人力画面 06/30/83 11:33:24 = 1 テキストの型 = 櫏 能 1 ファイル記 ファバ名 オプション イル記述 = 大\_\_\_\_\_ ----(SRCLIB) = A (SRCLIB) レコード形式 = V 最大長 = 80 文字 行番号 = Y レコールパー 利用者メモ = サプコマンド==> パラメータ \* \* \* \* \* \* - 機能番号 - - - -ーテキストの型ーーーー ーオブションーーーレコード形式ーー 1 / F - 固定長 2 / V - 可変長 1-SAME ( \*SRC ) 1-JIPS 10-FRT77 (SRCLIB) (TS SEQ) (TS SEQ) 2-0LD 2-FORTRAN 11-HPL A/ASIS 3-LIB 3-CBL74 M/MOVE[,I,J,K,L] - 最大レコード長-4-EXTRACT(SRCLIB) 4-PL1 S/STRIP 5-SAVE (TS SEQ) 6-RESAVE (TS SEQ) 5-BASIC I/INSERT[,M,N] NNN (257>NNN>D) 6-ALGOL N/NORMAL[(TAB)] 7-APPEND (SRCLIB) - 行番号指定有無-7-PASCAL 8-REPLACE(SRCLIB) 8-APL 1 / Y - 有 2 / N - 無 9-GMAP 9-NFW ( \*SRC ) その他の特殊指定 10-DONE

- ① 初期メニュー画面は、上図のように既定値が与えられており、変更が必要ならばパラメータ 入力を行い HTAB キーにより次の位置へカーソルが移動される。(BTAB キーによりバ ックが可能)
- 送信 | キー入力により、次の定常画面が表示される。

例1)ファイル名が、CAT1/FILE1で行番号指定が無しの場合。

- 1) 2 キー (OLD) HTAB キー ……機能
- 2) HTAB キー ………テキストの型
- 3) CAT1/FILE1 HTAB キー ……ファイル記述
- 4) HTAB HTAB HTAB HTAB
- 5) 2 キー(行番号指定無) 送信 ………行番号指定

### (2) 定常画面

メニュー画面でのパラメータ指定に誤りがなければ、下のような定常画面が表示される。

| (1)-<br>(2)- | -{ <sup>E</sup> | a 本<br>r ブ | 5<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 | T<br>7 | デン        | ז<br>ר | 9<br>==> | -     | - |    | ñ   | (<br>70 | 98 | _   | )         | •   | ÷ - | - r | :   |        |     | ក | 靫   | 選   |   | - |     | ų       | 行動  | 敗屆 | :   | Р   | AGE | c |
|--------------|-----------------|------------|----------------------------|--------|-----------|--------|----------|-------|---|----|-----|---------|----|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|---|-----|-----|---|---|-----|---------|-----|----|-----|-----|-----|---|
|              |                 | •••        | *•                         | ••     | <u>•1</u> | •••    |          | k • • |   | 2• | ••• | • * •   |    | • 3 | <br>• * • | ••• | ••4 |     | ••* | •••    | ••5 |   | • * | ••• | 6 |   | ••* | <u></u> | • 7 | •• | ••: | *•• | ••• |   |
|              |                 | 4          | )                          |        |           | (      | 3)       |       |   |    |     |         |    |     |           |     |     |     |     |        |     |   |     |     |   |   |     |         |     |    |     |     |     |   |
|              |                 |            |                            |        |           |        |          |       |   |    |     |         |    |     |           |     |     |     |     |        |     |   |     |     |   |   |     |         |     |    |     |     |     |   |
|              |                 |            |                            |        |           |        |          |       |   |    |     |         |    |     |           |     |     |     |     |        |     |   |     |     |   |   |     |         |     |    |     |     |     |   |
|              |                 |            |                            |        |           |        |          |       |   |    |     |         |    |     | <br>      |     |     |     |     | ****** |     |   |     |     |   |   |     |         |     |    |     |     |     |   |

- ① 最上行2行は"見出し表示行"である。
- ② サブコマンド==>は、日本語エディタのサブコマンド(ファイル全体に対する編集指示あるいは、日本語エディタの終了指示等)の入力フィールドである。
- ③ 画面の第5行目から最終行(24行目)までの20行がテキストイメージの表示行である。
   \* 直接編集 "可能な領域である。
- ・テキストイメージ表示行の内、先頭(左端)の数桁行(テキスト中の行番号の桁と一致する。)
   が、行単位の編集指示をする "行サブコマンド"の入力フィールド"行サブコマンドフィールド"
   となる。
   行番号をもたないテキスト、あるいは、行番号付きであっても行番号なしテキストと指示した

場合には、この行サブコマンドフィールドは6桁分のフィールドがシステムによって用意され る。

### 4. テキスト入力

 ① メニュー画面で、機能=9(NEW)と入力し送信 キーを押す。この場合、挿入予定行が 100行作成される。挿入予定行が10行の場合、機能=N10と入力し送信 キーを押す。 (Nℓℓℓ ℓℓℓ:1~999の範囲)

バラメータ入力画面 日本語エディタ 09/17/83 11:25:54 横 能 = <u>N10</u> ファイル記述 = ▲ オプション = ▲ =<u>N10</u> テキストの型 = 1 ---N10と入力し 送信 キー押す。 (SRCLIB) (SRCLTR) レコード形式 = V 最大長 = 80 文字 行番号 = Y 利用者メモ = サプコマンド==> 5-SAVE (TS SEQ) 6-RESAVE (TS SEQ) 5-BASIC I/INSERT[,M,N] NNN (257>NNN>D) 6-ALGOL N/NORMALE(TAB)] 7-APPEND (SRCLIB) 7-PASCAL RESE[ M,N] - 行番号指定有無-8-REPLACE(SRCLIB) 8-APL 1 / Y - 有 2 / N - 無 9-NEW ( \*SRC ) 9-GMAP 10-DONE その他の特殊指定

次のように定常画面が表示される。

日本語エディタ \*SRC ( nata 可変長 <del>-</del>080 行範囲 ) モード : 行数: 10 移動幅:PAGE 桁範囲 DATA 可変長 <del>-</del> サプコマンド==> ..2... 000010 000020 000020 000030 ----カーソル位置 000040 000050 000060 000070 000080 000090 000100 \*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\* 作成: 更新: 改版:

Û

③ テキスト入力を行う。

000010 WRITE(6,6) HTAB キー ↓
000010 WRITE(6,6) <u>000020</u> ↓
カーソルはこの位置にくるので HTAB キーを押し、000020\_の位置へもって行き、

次のテキストの入力を行う。

④ 全てのテキスト入力が終了すると、 送信 キーを押す。

日本語エディタ \*SRC ( ) モード : DATA 可変長 - 080 行範囲 -サプコマンド==> 行数 • 10 桁 範 囲 移動幅 :PAGE ····\*····1····\*···2····\*···3····\*···4····\*5····\*\*···6····\*···7··· \*\*\*\*\*\*\*\*\* テキストの開始 \*\*\*\* 作成: 更新: 改制 7....\*....8 改版: 000050 000060 000070 000080 000090 000100 \*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\* 作成: 更新: 改版:

Û

日本語エディタ \*SRC ( ) モード: 行数: 3 DATA 可変長 - 080 行範囲 - 桁範囲 - 移動幅:PAGE サプコマンド=>\_\_\_\_\_\_\_\_ \*\*\*\*\*\*\*\*\* テキストの開始 \*\*\*\* 作成: 更新: 改版: 000010 WRITE(6,6) 000020 6 FORMAT(5X,\*\*\* TEST \*\*\*) 000030 STOP;EN0 \*\*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\* 作成: 更新: 改版:

⑤ カーソルは、サブコマンド入力フィールドにある。

例えば、このテキストをファイル名 "FILE1" にSAVE するには、次のように行う。

⑥ 次に画面がクリアされ、以下のような表示になる。

DATA SAVED-ファイル名

R(ETURN)/U(PDATE)/M(ENU)/COMMAND?

□> 応答メッセージ

R: SAVE または RESAVE コマンドの受付時の状態に日本語エディタを戻す。

(定常画面が表示される)

U:カレントファイルの内容を日本語エディタのテキストとして処理を行う。

M:メニュー画面を表示する。

COMMAND:TSSのコマンド、利用者プログラムを指定し、その実行を行う。

```
SAVE FILE1
DATA SAVED-FILE1
R(ETURN)/U(PDATE)/M(ENU)/COMMAND?
=> <u>FORT S</u>
* <u>RUN</u>
** TEST **
```

5. カナ漢字変換

日本語エディタの特徴である日本語を取り扱うための操作法と使用例を示す。

例) 次のようなテキストを作成する。

000010大阪大学

000020大型計算機センター

① FNC2 キーと 1/2バイト キーを同時に押す。

下図のように最下行左端に〔かな〕が表示される。

(2) FNC2 キーと カナ/ローマ字 キーを同時に押すことにより、カナキー入力とローマ字入力を切り換えることができる。



③ ローマ字入力の例を示す。(カナキー入力は<sup>注1)</sup>を参照)

[漢字] キーを押す。 "【かな】"表示が"【漢字】"表示となる。

- ④ 漢字の "大"が欲しいので、
   D A I と入力し 変換 キーを押す。
- ⑤ 【漢字】の右に、代"が表示される。
- ⑥ つづいて 変換 キーを、 \* 大 ″ が表示されるまで押しつづける。
   または、次のような表示のときは、数字を入力する。(この場合 2 を入力。その後 漢字)
   キーを押す。)

⑦ \*大 ″ が表示されると 漢字 キーを押す。
 カーソルのある位置に \*大 ″ が入る。



- ③ つづいて、 S A K A と入力し、 "阪"が表示されるまで 変換 キーを押す。
   ④ "阪"が表示されると 漢字 キーを押す。
- ⑩ 同じように、"大"、学"と入力する。
- ① 次のテキスト000020にカーソルを持って行く為に、 HTAB キーを押すのであるが、
   【漢字】表示のときには効かないので、 変換 キーを押し【かな】表示にし、 HTAB キーを押す。
- 注1) (漢字) キーを押す。〔漢字〕表示になるので、<sup>™</sup>大″が欲しい場合 タ [ い イ と入 カし、 [ 変換] キーを押す。

 2 カーソルを000020\_にもってき、①②③の操作を行い、同じように"大型計算機"と入力する。



- 13 \*センター " とつづくので、 変換 キーを押し カナ キーを押す。【カナ】表示になるので、 S E N T A と入力する。
- 参考 1) 熟語入力も可能。例えば"大学"の場合、 D A I G A K U と入力し 変換 キーを押す。
- 参考 2) 1行に漢字と英数 (ANK 文字) が混っている場合、例えば \* 大学 A " では、 \* 大学 " を 表示した後、 変換 キーを押し 【 かな 】 表示にし、 FNC2 キーと 1/2バイト キー を同時に押し 【 かな 】 表示を消す。それ以後、英数入力が可能になるので \* A " を入力する。
- 6. 直接編集

日本語エディタでのテキスト編集の基本は、画面上でのカーソル操作である。すなわちカーソルを修正しようとする文字へ、あるいは入力しようとする箇所への位置付けである。

(1) 文字修正

カーソルを目的の位置へ移動させ、直接修正する文字をキー入力する。

例)テキスト中の"坂"を"阪"に修正する。

| 日本語エディタ *SRC (   | ) モード :  |       | 行数: 1<br>称动蛇,百 |
|--|----------|-------|----------------|
| $\frac{1}{7} \frac{1}{7} \frac{1}$ |          | 5 * 6 | 12 30 ma : g   |
| 2.<br>#******* テキストの開始<br>000010大坂大学   | **** 作成: | 更新:   | 改版.            |
| ********** テキストの終了<br>3.   | **** 作成: | 更新:   | 改版.            |

- ① [HTAB] キーを押し、 \* 大 ″ の位置 ヘカーソルをもってくる。
- ② → キーを押し、 "坂"の位置へカーソルをもってくる。
- ③ FNC2 キーと 1/2バイト キーを同時に押す。
- ④ FNC2 キーと カナ/ローマ字 キーを同時に押し、 【かな】表示にする。

| 5 | 漢字  キーを押す。                    |  |
|---|-------------------------------|--|
| 6 | $S A K A + \lambda + \lambda$ |  |

- ⑦ \*阪 \* が表示されると 漢字 キーを押す。
- ⑧ | 変換 | キーを押し、 | 送信 | キーを押す。

#### (2) 文字の挿入

ある文字列の途中に任意の文字を挿入するときには、挿入したい位置の直後の文字位置にカ ーソルを位置づけ、挿入文字個数だけ<sup>\*\*</sup>挿入ファンクション<sup>\*\*</sup>キーを押し(漢字の場合1文字 に対して2回)、NULLフィールドを作成し、文字入力を行う。

文字の挿入によって、そのフィールドの右端の文字は、次のフィールドへ移されることなく、 順次抹消されて行くので注意する必要がある。このような場合、可能ならば途中の不用な文字 (空白も含む)を削除してから処理するとよい。

例)テキスト中の"大学"と"センター"の間に"計算機"を挿入する。

| · |                       |                |      |     |     |      |      |                | ``  |
|---|-----------------------|----------------|------|-----|-----|------|------|----------------|-----|
|   | 日本語エディタ               | *SRC<br>₹ - 80 | C    | )   | モード | :    | 務    | 行数 :<br>動幅 · 百 | 1   |
|   | サブコマンド==              | :><br>:*?      | .*3. | *   | 4   | .*5* | ···· |                | - 8 |
|   | ******* テキ 000010大阪大学 | ストの開始<br>センター  | **** | 作成: | :   | 更新   | :    | 改版.            |     |
|   | ****** テキ             | ストの終了          | **** | 作成: | :   | 更 新  | :    | 改版。            |     |
|   |                       |                |      |     |     |      |      |                |     |

→ "計算機 "を挿入する。

- ① カーソルを "セ"の位置へもって行く。
- ② 漢字3文字を挿入したいので 挿入 キーを6回押す。
- ③ |FNC2| キーと | 1/2バイト| キーを同時に押す。
- ④ FNC2 キーと カナ/ローマ字 キーを同時に押す。
- ⑤ 漢字 キーを押す。左下の表示に【漢字】が表示される。
- ⑥ K E I と入力し 変換 キーを押す。
- ⑦ \*計 ″ が表示されるまで 図換 キーを押す。
- ⑧ \*計 / が表示されると | 漢字 | キーを押す。

大阪大学大型計算機センターニュース -- 60 --

"大阪大学計△△センター"に表示が変る。

- ③ S A N と入力し 変換 キーを押す。
- 10 \* 算 ″ が表示されると 漢字 キーを押す。
- K I と入力し 変換 キーを押す。
- 12 \*機 ″ が表示されると 漢字 キーを押す。

日本語エディタ \*SRC JIPS 可変長 – 80 サプコマンド==> 行数 : 移動幅 : 頁 ) モード : ( 1 \*\*\*\*\*\*\*\*\*\* テキストの開始 \*\*\*\* 作成: 000010大阪大学計算機センタ-\*\*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\* 作成: .\*....4....\*... 7....\*....8 改版。 更新: ....... 改版. 更新:

(3) 文字の削除

ある文字を削除するときには、削除したい文字位置へカーソルを位置付け、 削除 キーを 押す。

\*削除フェンクション"キーを押すと、カーソルの位置の文字が削除されると同時に、それより右側に表示されていた文字は、削除された文字数分だけ左へ詰まる。

あるフィールド内で、文字削除だけを行う場合は、文字削除によってカーソル位置へシフト された文字と同一の文字を、入力しておく必要がある。

| <ul> <li>① カーソルムーブキー → を押し<u>大</u>の位置へカーソルを位置付ける。         <ul> <li>①</li> <li>② 削除 キーを2回押す。                 <ul></ul></li></ul></li></ul> | 例) | 大阪大学大型計算大阪機センター 大阪の2文字を削除する     |
|---|----|---------------------------------|
| ② <u>削除</u> キーを2回押す。<br>↓<br>大阪大学大型計算機センター  | 1  | カーソルムーブキー → を押し大の位置へカーソルを位置付ける。 |
| ↓<br>大阪大学大型計算機センター<br>三   | 2  | ↓<br><u> 削除</u> キーを2回押す。        |
|   |    | ↓<br>大阪大学大型計算機センター<br>Ξ         |

# 7. 行サブコマンド編集

行サブコマンドは、画面に表示されているテキストを見ながら、行単位での編集を行う為のコ マンドであり、行サブコマンドフィールドでのみ入力できるものである。

| 機能名称      | 行サブコマンド<br>形 式       | 機能                                 |
|-----------|----------------------|------------------------------------|
| After     | A〔n〕△                | CopyまたはMoveで指定したテキスト行をA指定行の〝後″へ    |
|           |                      | n回挿入.n省略は1回の意味.                    |
| Before    | B〔n〕△                | CopyまたはMoveで指定したテキスト行をB指定行の "前" へn |
|           |                      | 回挿入. n省略は1回の意味.                    |
| Transfer  | TA〔n〕△               | TRNSサブコマンドで指定されたテキスト行をTA指定行の直後     |
| After     |                      | ヘn回挿入, n省略は1回の意味.                  |
| Transfer  | TB〔n〕△               | TRNSサブコマンドで指定されたテキスト行をTB指定行の直前     |
| Before    |                      | ヘn回挿入, n省略は1回の意味.                  |
| Repeat    | R〔n〕△                | R指定行の行をこの行の直後にn回挿入, n省略は1回の意味.     |
| Сору      | C[n]∆                | Cn△指定行を含み、連続するn行のテキストを、BまたはA指定     |
|           |                      | 行の前または後へ複写. n省略は1行の意味.             |
|           | CC                   | CCとCCとで指定した範囲のテキストを、BまたはA指定行の前     |
|           |                      | または後へ複写.                           |
| Delete    | D〔n〕△                | Dn △指定行を含み、連続するn行のテキストを削除.n省略は1    |
|           |                      | 行の意味.                              |
|           | DD                   | DDとDDとで指定した範囲のテキストを削除。             |
| Insert    | I[n]                 | In △指定行の直後に,n行の新たなテキスト行を挿入(実際のテ    |
|           |                      | キスト入力は直接編集 ).                      |
|           |                      | n省略は1行の意味.                         |
| Move      | M〔n〕△                | Mn△指定行を含み,連続するn行のテキストを,BまたはA指      |
|           |                      | 定行の前または後へ移送. n省略は1行の意味.            |
|           | MM                   | MMとMMとで指定した範囲のテキストを、BまたはA指定行の      |
|           |                      | 前または後へ移送.                          |
| Join      | J                    | このテキスト行と画面上の他のJ行サブコマンドの指定されたテ      |
|           |                      | キスト行を結合する.                         |
| Partition | Р                    | このテキスト行を複数行に分割する。                  |
| Show      | S                    | exclude 機能によって表示されていないテキスト行を,再度表示  |
| exclude   | X〔n〕△                | Xn △ 指定行を含み,連続するn行のテキスト表示を一時省略     |
|           |                      | (非表示). n省略は1行の意味.                  |
|           | XX                   | XXとXXとで指定された範囲のテキストを一時省略(非表示).     |
| text Left | <[n]△                | <п△指定行のテキスト内容を, n桁左へ移動(シフト).       |
| shift     |                      | n省略は1桁の意味.                         |
|           | $<<$ (n) $\triangle$ | << n △指定行から<<指定行までの範囲のテキスト内容を, n   |
|           |                      | 桁左へ移動(シフト).                        |
|           |                      | n省略は1桁の意味                          |

行サブコマンド一覧

| 機能名称       | 行サブコマンド<br>形 式 | 機                            | 能                |
|------------|----------------|------------------------------|------------------|
| text Right | >[n]△          | >n △指定行のテキスト内容を,             | n 桁右へ移動(シフト).    |
| shift      |                | n省略は1桁の意味.                   |                  |
|            | >>[n]∆         | >>n △指定行から>>指定行              | までの範囲のテキスト内容を, n |
|            |                | 桁右へ移動(シフト).                  |                  |
|            | >>[n]∆         | >>n △指定行から>>指定行 <sup>*</sup> | までの範囲のテキスト内容を, n |
|            |                | 桁右へ移動(シフト).                  |                  |
|            |                | n省略は1桁の意味.                   |                  |
| Fixed      | )              | 画面の先頭表示行から〕指定行               | までを固定表示.         |
| reVival    | V              | ベリファイモードで削除予定の               | テキスト行を削除しないことを指  |
|            |                | 示する.                         |                  |

(1) 行の挿入

例1) 行番号付きテキストの挿入



テキスト入力を行わない。

(2) 行の削除

例1) 行番号15,30,32,40,50,60 を削除する。

| 日本語<br>ボデブン<br>サブブス<br>*******<br>000010赤<br>000020寄<br>0200320<br>0000326<br>0000326<br>0000326<br>000050黒<br>000050<br>000050<br>000050<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>000080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>00080<br>0 | 「イタ *SRC (<br>可変長 - 80<br>ド ==><br>1*2*<br>テキストの開始 | *** | 送信 キー | 日本語エ<br>JIPS<br>サブコマン<br>******<br>000010赤<br>000020青<br>000034白<br>000070紫<br>000080紫<br>000080紫<br>******* | ディタ *SRC<br>可変長 - 8C<br>/ド==><br>1*2<br>テキストの<br>テキストの | (<br>開始 **<br>終了 ** | -3-<br>** |
|--|--|-----|-------|--|--|---------------------|-----------|
| \[   |  | )   | ,     |  |  |                     | )         |

(3) 行の複写および移送

例1) テキスト中の "青"を "紫"の直後へ複写、 "朱"を "緑"の直前へ移送。

| 日本語エディタ *SRC (         | <ul> <li>日本語エディタ *SRC (</li></ul> |
|------------------------|-----------------------------------|
| JIPS 可変長 - 80          | JIPS 可変長 - 80                     |
| サブコマンド ==>             | サブコマンド==>                         |
| *1*2*3                 | *1*2*3.                           |
| ********* テキストの開始 **** | ********* テキストの開始 *****           |
| 0010赤                  | 0010赤                             |
| <u>C</u> 20青           | 0020青                             |
| 0030白                  | 0030白                             |
| <u>A</u> 40紫           | 0040紫                             |
| 0050藍                  | 0040紫                             |
| <u>M</u> 60朱           | 0045青                             |
| 0050藍                  | 0050藍                             |
| <u>M</u> 60朱           | 0070黄                             |
| 0050                   | 0075朱                             |
| <u>B</u> 80緑           | 0080緑                             |
| 0090灰                  | 0090灰                             |
| ********* テキストの終了 ***  | ******** テキストの終了 ***              |

(4) 行の左右移動

例1)テキスト中の"黄山黄"を左へ4桁シフトし、"灰山灰"を右へ2桁シフトする。

| 日本語エディタ COLOR ( ) モ<br>AATA 可変長 - 080 行範囲                                     | 洋信 | 日本語エディタ COLOR ( ) モ<br>DATA 可変長 - 080 行範囲  |
|---|----|--|
| サプコマンド==><br>*1*2*3*.<br>******** テキストの開始 **** 作成<br><4_010 黄 黄<br>000020 青 青 |    | サブコマンド==><br>*1*2*3*.<br>******* テキストの開始 **** 作成<br>000010 黄 黄<br>000020 香 青<br>000020 緑 気 |
| 000030 ## ##<br><u>&gt;2</u> 040灰 灰<br>******* テキストの終了 **** 作成                |    | 000050 採 採<br>000040 灰 灰<br>******* テキストの終了 **** 作成  |

## 8. サブコマンド編集

サブコマンドは、画面に表示されているイメージのみに限らずテキストファイル全体に対して ある文字列の修正、次に表示するテキスト行の指定、あるいは、編集処理の終了等を指定するコ マンドである。

(1) サブコマンド一覧

| 機 | 能名     | サブコマンド形式   | 機能説明                 | 使用例                     |
|---|--------|--|----------------------|-------------------------|
|   | Locate | L  | テキストファイルの先頭行から表示     | L                       |
|   |        |  | する。                  |                         |
|   |        | $L \bigtriangleup \ell$                          | 行番号ℓで示される行から表示す      | L△200                   |
|   |        |  | る.                   |                         |
|   |        | L∆±n   | カレント行から相対n行後(+)または   | $L \bigtriangleup + 5$  |
|   |        |  | 前(-)の行から表示する。        |                         |
|   |        | L∆±nP  | カレント行から相対nページ後(+)ま   | L△-5P                   |
|   |        |  | たは前()の行から表示する.       |                         |
| - |        | L△/st/   | カレント行以降で最初に見つかった     | L△/日本語                  |
|   |        |  | 文字列(st)を含む行から表示する.   |                         |
|   |        | L△/st/r  | カレント行以降で r 個目に見つかっ   | $L \bigtriangleup / 5$  |
| + |        |  | た文字列(st )を含む行から表示す   |                         |
| + |        |  | る.                   |                         |
|   |        | L△ℓ/st/r   | 行番号ℓ以降でr個目に見つかった     | L△50/日本語/3              |
| 7 |        |  | 文字列(st)を含む行から表示する.   |                         |
| ~ |        | L∆±n/st/r  | カレント行から相対n行後(+)または   | L△±5/日本語/3              |
|   |        |  | 前(−)の行以降で r 個目に見つかった |                         |
| , |        |  | 文字列 (st)を含む行から表示する.  |                         |
| r | Select | $S 	riangle \ell, \ell, \ell_1 - \ell_2, \cdots$ | 行番号ℓあるいはℓ₁からℓ₂の行間を   | S△10,20,100-200,        |
|   |        |  | セレクト対象行とする.          | •••                     |
| = |        | $S \triangle \pm n, \pm n, \pm n; m, \cdots$     | カレント行から相対n後(+)または前   | S△-5,- <b>2</b> ,+2;5,… |
| 衣 |        |  | (-)の行,あるいはその行以降m行間   |                         |
|   |        |  | をセレクト対象行とする.         |                         |
|   |        | S∆/st/   | カレント行以降の文字列(st)を含    | S△/日本語/                 |
| 亦 |        |  | む行をセレクト対象行とする.       |                         |
|   |        | S∆ℓ/st/  | 行番号ℓ以降の文字列(st)を含む    | S△50/日本語/               |
|   |        |  | 行をセレクト対象行とする・        |                         |
|   |        | S∆±n/st/   | カレント行から相対 n 行後(+)または | S△+5/日本語/               |
|   |        |  | 前臼の行以降の文字列(st)を含む    |                         |
|   |        |  | 行をセレクト対象行とする.        |                         |
|   | No     | NOSE   | セレクトモードを解除する.        | NOSE                    |
|   | SElect |  |                      |                         |
|   | SHIFt  | SHIF∆n   | n桁目を画面のテキスト部先頭に位     | SHIF 10                 |
|   |        |  | 置づけて表示する.            |                         |

(注意)表中△は空白を表わす。

| F        |        |  |   |                                       |
|----------|--------|--|---|---------------------------------------|
| 機        | 能名     | サブコマンド形式   | 機能説明  | 使用例                                   |
| テ表       | SHIFt  | SHIF∆±n  | 現在の画面のテキスト部先頭桁から  | SHIF∆+10                              |
| キ<br> ス  |        |  | 相対n桁後(+)または前()から表示す                                     |                                       |
| ト示       |        |  | る.  |                                       |
|          | SCRoL1 | SCRL△P   | ページ単位 (通常 20行)をテキスト                                     | SCRL                                  |
| テキ       |        |  | 送りの単位とする.   |                                       |
| ス        |        | SCRL△H   | 半ページ単位 (通常 10 行) をテキス                                   | SCRL△H                                |
| ト<br>  送 |        |  | ト送りの単位とする.  |                                       |
| 5        |        | SCRL△ℓ   | 任意の行数ℓをテキスト送りの単位  |                                       |
|          |        |  | とする.  |                                       |
| 文カ       | Find   | F∆/st/   | 画面イメージ内で最初に見つかった  | F△/日本語/5                              |
| 字上       |        |  | 文字列(st)にカーソルを位置づけ                                       |                                       |
| シソ 列ル    |        | ······································   | る.  |                                       |
| へせ       |        | F△/st/r  | 画面イメージ内でr 個目に見つかっ                                       | F△/日本語/5                              |
| のト       |        |  | た文字列(st)にカーソルを位置づ                                       |                                       |
|          |        |  | ける  |                                       |
| 行の       | INSerT | INST $\Delta \ell(;n)(,\ell)$  | 行番号ℓのテキスト行の直後にn行  | INST△10;2                             |
| 挿        |        | [;n])  | 分(省略は1)の挿入予定行を作成  |                                       |
|          |        |  | する.   |                                       |
|          | Change | $C \triangle / st_1 / st_2$  | カレント行以降の最初に見つかった  | C△/日本語/翻訳語                            |
|          |        |  | 文字列( $st_1$ )を文字列( $st_2$ )に置換                          |                                       |
|          |        |  | する.   |                                       |
|          |        | $C \bigtriangleup \ell / st_1 / st_2 /$  | 行番号化以降の最初に見つかった文  | C△50/日本語/中国                           |
|          |        | <u>CARLALAL</u>  | 子列( $st_1$ )を文子列( $st_2$ )に置換する.                        |                                       |
|          |        | $C \bigtriangleup \ell/St_1/St_2/r$  | 行番号 $\ell$ 以降の $\Gamma$ 個の 义子列 (St <sub>1</sub> )       | ℃△50/日本語/中国                           |
| -        |        | $C \land A \land A \land b + A \land $ |   | 語/5                                   |
| БI       |        | $C \bigtriangleup \ell_1 = \ell_2 / \mathrm{SL}_1 / \mathrm{SL}_2 / \mathrm{I}_1$  | 1) 番号 $\ell_1$ から $\ell_2$ までの合门 $\Gamma$ 個の文           | し△10-50/日本語/                          |
| 21       |        |  | 子列(St1)を又子列(St2)に直換す                                    | 屮幽語/5                                 |
| 爵        |        | CA+n/at /at /r   | る・  |                                       |
| E        |        | $C \bigtriangleup \pm \Pi/St_1/St_2/I$   |   |                                       |
| 協        |        |  | 前(つの1)以降の1 個の文子列( $Sl_1$ )<br>た文字列( $st$ )に開始する         | <b>治</b> /5                           |
| 换        |        | CAthim/st /st /r   | で文子列(Sl2)に直換する.   | C ^ 5:10/日大河/中                        |
|          |        | Carn, 11, 11/St <sub>1</sub> /St <sub>2</sub> /1   | 前日の存上りから相対目的を行または                                       | □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ |
|          |        |  | 前(つの1)より11111間の谷1)111回の文<br>字列(st)な文字列(st)に環境す          | 四倍/5                                  |
|          |        |  |   |                                       |
|          | COPV   | COPY   |   |                                       |
| 文        |        |  | 、 こ / この a 4 い ご 加山 人 ナ グ り<br>を A またけ B の 位置 へ 海 写 オ ス |                                       |
| 字        |        |  | まとの文字列けそのまま   |                                       |
| 列の       |        | COPYAC   | してシステルなてジェス・<br>以前の画面で抽出した文字列と表示                        |                                       |
| 複        |        |  | 画面の"<"と">"で囲まれた文字                                       |                                       |
| 写        |        |  | 列を結合してAまたはBの位置へ複  |                                       |
|          |        |  | 写する、もとの文字列はそのまま、  |                                       |

| 機        | 能名      | サブコマンド形式   | 機能説明                 | 使用例  |
|----------|---------|--|----------------------|--|
|          | MOVE    | MOVE   | "<"と">"で囲まれた抽出文字列    |  |
| 文        |         |  | をAまたはBの位置へ移送する.      |  |
| 字        |         |  | もとの文字列は削除される.        |  |
| 0        |         | MOVE△C   | 以前の画面で抽出した文字列と表示     |  |
| 移        |         |  | 画面の"<"と">"で囲まれた文字    |  |
| 送        |         |  | 列を結合してAまたはBの位置へ移     |  |
|          |         |  | 送する.もとの文字列は削除される.    |  |
|          | Delete  | $D \triangle \ell, \ell, \ell_1 - \ell_2, \cdots$            | 行番号ℓあるいは行番号間ℓ₁からℓ₂   | $D \triangle 4$<br>D $\triangle 8 \ 9 \ 100 - 115$ |
|          |         |  | (省略は最後まで)を削除する.      | 500-   |
|          |         | $D \triangle \pm n, \pm n, \pm n; m$                         | カレント行から相対 n 行後(+)または | D△+4, -50  |
| 文        |         |  | 前(-)の行, あるいは, その行よりm | D△+8 ; 15  |
| 字        |         |  | 行間(*は最後まで)を削除する.     |  |
| 列        |         | D△/st/   | カレント行以降の文字列(st)を削    | D△/日本語/  |
| Ø        |         |  | 除する.                 |  |
| 削        |         | D∆/st/r  | カレント行以降のr個の文字列(st)   | D△/昭和/4  |
| 除        |         |  | を削除する.               |  |
| •        |         |  | rが*のときはすべてを意味する.     |  |
| 行        |         | D△ℓ/st/r   | 行番号以降のr個(省略は1)の文     | D△/明治/3  |
| Ø        |         |  | 字列 (st)を削除する.        |  |
| 削        |         |  | rが*のときはすべてを意味する.     |  |
| 除        |         | D∆±n/st/r  | カレント行から相対 n 行後(+)または | D△+4 /明治 / *                                       |
|          |         |  | 前(-)の行以降のr個(省略は1)の   | D△-1/大正/   |
|          |         |  | 文字列 (st)を削除する.       |  |
|          |         |  | rが*のときはすべてを意味する.     |  |
|          | Line    | LNED   | 行番号編集モードとする.         | LNED   |
| 行        | Number  |  |                      |  |
| 0        | EDit    |  |                      |  |
| 移        | No Line | NOLN   | 行番号編集モードを解除する.       | NOLN   |
| 送        | Number  |  |                      |  |
|          | edit    |  |                      |  |
| 外        | TRaNS   | TRNS AI = 77112  | TSSファイルからテキストを入力     | $TRNS \triangle I = /M / SE$                       |
| 部<br>  テ | fer     | $LN = \left\{ \begin{array}{c} Y \\ N \end{array} \right\}$  |                      | \ F. T   |
| +        |         |  | しいは行香亏の指定.           |  |
| スト       |         | TKNS公I=ノアイル名   | · ソースフィノフリノンノアイルから   | 1 KNS = A(B)                                       |
| 0        |         |  | アキストを八刀し挿八する。        | $\triangle OP = M$                                 |
| 挿<br>  入 |         | $\left[ (\Delta OP = \pi/\gamma = \gamma) \right]$           |                      | $\triangle LN = Y$                                 |
|          |         | $\left( \triangle LN = \left\{ {Y \atop N} \right\} \right)$ |                      |  |
| 識付       | IDEN t  | IDEN△/st/  | 挿入予定行のテキスト部先頭桁から     | IDEN△/日本語/   |
| 別<br>子与  |         |  | 識別子をセットする.           |  |

| 機         | 能名         | サブコマンド形式   | 機能説明   | 使用例             |
|-----------|------------|--|--|-----------------|
| 識付        | IDEN t     | IDEN△n/st/                                       | 挿入予定行のテキストn桁から識別                             | IDEN△10/日本語/    |
| 別         |            |  | 子をセットする.                                     |                 |
| 子与        | NOIDent    | NOID   | IDENTモードを解除する.                               | NOID            |
| 固         | MASK       | MASK△n/st/[,n/                                   | 修正行に対して n 桁(省略は1)か                           | MASK△10/ABC/    |
| 定         |            | st/)   | ら固定情報 s t を設定する.                             | MASK 10/X/, 20/ |
| 悄<br>報    |            |  |  | B/, /Z/         |
| 付         | No         | NOMA   | MASKモードを解除する.                                | NOMA            |
| 与         | MAsk       |  |  |                 |
| ラモサ       | FIRS t     | FIRS∆x   | ラインモードサーチ記号 x を定義す                           | FIRS∆#          |
| 111       |            |  | る.   |                 |
| 177       | NOFIrst    | NOFI   | FIRST機能を解除する.                                | NOFI            |
| 行再        | RESE       | RESE△m,n   | 初期値m,増分値 n で全テキストを                           | RESE△0010, 10   |
| 番番号       | quence     |  | 再番号づけする.                                     |                 |
| 号づ        |            | RESE $\triangle$ m, n, $\ell_1 - \ell_2$         | 行番号 ℓ1 からℓ2までのテキストを初                         | RESE△0010, 10,  |
| のけ        |            |  | 期値m, 増分値nで再番号づけする.                           | 100-200         |
| 行コキ       | CANCel     | CANC△x   | ペンディング行サブコマンドや固定                             | CANC M          |
| サンセ       |            |  | 行を解除する.                                      |                 |
| ブドル       |            |  |  |                 |
| べ編        | VERI fy    | VERI   | ベリファイモードを開始する.                               | VERI            |
| リフ        |            |  | 削除行の確認を行う.                                   |                 |
| アイ住       | No         | NOVE   | ベリファイモードを解除する.                               | NOVE            |
| 1 朱       | VErify     |  |  |                 |
|           | Boundary   | BLIN∆ℓ   | 行番号化以降最後までを編集範囲と                             | BLIN△0050       |
|           | LINe       |  |  |                 |
| 省         |            | $BLIN \triangle \lfloor \ell_1 \rfloor - \ell_2$ | 行番号 4(省略はカレント行)から行                           | BL1N∆500-600    |
| 湖田        | <b></b>    |  | 香亏 <i>l</i> 2 までを編集範囲とする.                    | BLINA-800       |
| 集         | INO<br>D 1 | NBLI   | 11位直による編集範囲を有効にする.                           | NBLI            |
| 455       | Boundary   |  |  |                 |
| 車已        | Domes      |  | テナフトの転位署にからデナフトの                             | DCOL A15        |
| 囲         | COL        | BCOLAC   | ノキヘトの桁位直しからノキヘトの<br>ナ曲まで須集範囲トオス              | BCOLV12         |
| Φ         | COLUMN     |  | ついまし補来 戦田 とりる・<br>テキュトの おけ 思 へ か こ に 教 っ オ で |                 |
| 0)        |            |  | 「イストの桁位直しから桁数 II まて<br>た毎年晩囲とする              | BCOLZ30,10      |
| 限         |            | BCOLATC. 1-C.                                    | そ端未配のとする.                                    |                 |
| 完         |            |  | らし、までを編集範囲とする                                | BCULZ40-72      |
|           | No         | NBCO   |  | NBCO            |
|           | Roundary   |  |  |                 |
|           | COhimp     |  |  |                 |
| 文記        | NOTE       | NOTE\n/st/                                       | 記憶域番号nに文字列stを記憶す                             | NOTE            |
| 富富        |            |  | 3.   | 1,010           |
| - 指<br>列定 |            |  | -  |                 |
| · •/~     |            | L  |  |                 |

| 機       | 能名        | サブコマンド形式     | 機能説明                 | 使用例                       |
|---------|-----------|--------------|----------------------|---------------------------|
| 制       | EXCH      | EXCH         | すべての制御文字を標準とする.      |                           |
| 御文      | ange      | EXCH△/x/y/   | 標準制御文字(x)を代替え制御文字(y) | EXCH△/A/P/                |
| 字       |           |              | に変更する.               | EXCH△/(/#/                |
| の<br>変  |           | EXCH△/x/     | x で指定された標準制御文字に対応    | $EXCH \triangle / > /$    |
| 更       |           |              | する代替え制御文字が消去される.     | EXCH△/B/                  |
|         | Program   | PECM         | 実行モードをその言語サブシステム     |                           |
| 実の行指    | Execution |              | の既定値とする.             |                           |
| モ定      | Control   | PECM△x       | 実行モードをx(T,RまたはVのい    | PECM△T                    |
| K       | Mode      |              | ずれか )とする.            | PECM△R                    |
| '       |           |              |                      | PECM△V                    |
| 1767 .1 | PAGE      | PAGE△ℓ(P)    | 定常画面の行数をℓとする.        | PAGE △15 P                |
| 面、      |           |              | " P"は画面の未使用部分を保護フ    |                           |
| の拡      |           |              | ィールドとする。             |                           |
| 湘 扳     |           | PAGE         | 定常画面のサイズを標準にする.      | PAGE                      |
|         | SCreen    | SCSP△Cn      | 定常画面をn桁位置から縦に分割す     | SCSP∆C4                   |
| THE     | SPlit     |              | 3.                   |                           |
| E       |           | SCSP△Ln      | 定常画面をn行目から横に分割する.    | SCSP△L 15                 |
| 面       | SPLI t    | SPLI△〔パラメータ〕 | 画面分割の指示を行い、同時に編集     | SPLI∆I=A                  |
|         |           |              | する新しいテキストのファイルを指     | $SPLI \triangle I = B(C)$ |
| 分       |           |              | 定するパラメータは SEDIT コマン  |                           |
| 中山      |           |              | ドと同じ                 |                           |
| 司       | No        | NOSP         | 画面分割編集を終了する.         | NOSP                      |
|         | SPlit     |              |                      |                           |
| 編終      |           | END          | テキスト編集終了             | END                       |
| 集了      |           | DONE         | 日本語エディタ終了            | DONE                      |

- (1) Locate サブコマンド
- 例1)指定した行番号から表示する。

| 日本語エディタ *SRC ( )<br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド ==> <u>し</u> 40<br>*1*2*3<br>******** テキストの開始 **** 作<br>00010北海道大学<br>000020東北大学<br>000020東北大学<br>000040名古屋大学<br>000050京都大学<br>000060大阪大学 | 送信<br>キー<br>C> | 日本語エディタ *SRC ( ):<br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド==><br>*1*2*<br>000040名古屋大学<br>000050京都大学<br>000060大阪大学<br>000060大阪大学<br>000070九州大学<br>******** テキストの終了 **** 作5 |
|--|----------------|--|
| UUUU/U/L/州大子<br>******** テキストの終了 **** 作  |                |  |

例2)指定した文字列"阪"を含む行から表示する。

| 日本<br>DATA<br>サブ | 語 エ ディ タ *SRC (<br>可 変 長 ~ 080 ~<br>コ マ ン ド ==>L /阪 / | ( ) न<br>千範 囲    | 送信 キー | (<br>日本語エディタ *SRC ( ) <del>1</del><br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド==> |
|------------------|---|------------------|-------|---|
| ****             | *····2···<br>**** テキストの開始<br>10北海道大学                  | .*З*<br>**** (ГБ |       | *1*2*3*<br>000060大阪大学<br>000070九州大学                                   |
|                  | 20東北大学<br>30東京大学<br>40名古屋大学<br>50京都大学                 |                  |       | ******** テキストの終了 **** 作瓦  |
| 0000             | 60大阪大学<br>70九州大学                                      |                  |       |   |
| ****             | **** テキストの終了  | **** /F          |       |   |

(2) Select  $\forall \vec{j} \exists \vec{v} \lor \vec{v}$ 

例1)指定した行番あるいは行番間をセレクト対象行とする。

| 日本語エディタ DAIGAKU ( ) *<br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド ==> <u>5 20-40,60</u><br>*1*2**<br>********* テキストの開始 ***** 作方<br>000010北海道大学<br>000020東北大学<br>000020東北大学<br>000030東京大学<br>000040名古屋大学<br>000050京都大学<br>000050京都大学<br>000050京都大学 |   |               |   |
|---|---|---------------|---|
| ****** アモストの終了 **** PF1   | 日本語エディタ DAIGAKU ( ) <sup>-</sup><br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド ==> <u>S 20-40,60</u><br>* | 送信<br>キー<br>亡 | 日本語エディタ DAIGAKU ( ) =<br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド==><br>**<br>******** テキストの開始 **** 作 f<br>000020東北大学<br>000030東京大学<br>000040名古屋大学<br>000060大阪大学<br>******** テキストの終了 **** 作 f |

例2)指定した文字列"京"を含む行をセレクト対象行とする。

| 日本語エディタ DAIGAKU () ) =<br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド ==> <u>S /京 /</u><br>*1*2*3,<br>******** テキストの開始 ***** 作5<br>000010北海道大学<br>000020東北大学<br>000030東京大学<br>000040名古屋大学<br>000050京都大学<br>000060大阪大学 | 送信<br>+-<br>℃ |
|--|---------------|
| 000070九州大学<br>******** テキストの終了 **** 作り   |               |

| 日本語エディタ DAIGAKU (<br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド==> | ) - |
|--|-----|
| ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                 | 作质  |
| 000050京都大学<br>  ******** テキストの終了 ****                | 作后  |

(3) SHIFT サブコマンド

例1) n桁目を画面のテキスト部先頭に位置づけて表示する.



送信 キー 🖓

日本語エディタ \*SRC () ) モード: DATA 可変長 - 080 行範囲 -サブコマンド==> ...\*...2....\*...3...\*...4...\*.. \*\*\*\*\*\*\*\* テキストの開始 \*\*\*\* 作成: 000010道大学 東北大学 東京大学 名古屋大学 000020大学 大阪大学 九州大学 \*\*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\* 作成: 参考) テキストの表示行の左端、または右端の1桁に日本語データの1文字の半分(1バイト) が、またがって表示されるような場合、そのカラムに"\*"を保護フィールドとして表示 する。

日本語エディタ \*SRC ( ) モード : DATA 可変長 - 080 行範囲 -サプコマンド ==>SHIF +21 ....\*...1...\*...2....3....\*...4....\*.. \*\*\*\*\*\*\*\* テキストの開始 \*\*\*\* 作成 : 000010北海道大学 東北大学 東京大学 名古屋大学 000020京都大学 大阪大学 九州大学 \*\*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\* 作成 :

送信キーし

└−保護フィールド

(4) Find サブコマンド

例1)指定した文字列"黒"にカーソルを位置付け、直接編集を行う。



(注) 一度、Find 文字列を指定した後は PF9 キーによって次の該当文字列にカーソルを位置づけることが出来る。

- (5) INSerTサブコマンド
- 例1)指定した行番号の直後にn行分の挿入予定行を作成する。

日本語エディタ DAIGAKU ( ) DATA 可変長 - 080 行範囲 サプコマンド ==><u>INST 60;2</u> ....\*...1....\*...2....\*...3.... \*\*\*\*\*\*\*\* テキストの開始 \*\*\*\* 作 000010北海道大学 000020東北大学 000030東京大学 000040名古屋大学 000050京都大学 000050京都大学 000060大阪大学 000070九州大学 \*\*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\* 作

 日本語エディタ DAIGAKU ( DATA 可変長 - 080 行範囲 サブコマンド==> ....\*....3 000060大阪大学 000063 000066 000070九州大学 \*\*\*\*\*\*\*\*\* テキストの終了 \*\*\*\*

(6) Change サブコマンド

例1)ファイル上の文字列"白"を"赤"にすべて置換する。

| 日本語エディタ COLOR ( )<br>DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サプコマンド=> <u>C /白 /赤 /*</u><br>*1*2*<br>******* テキストの開始 **** 作<br>000010黄 黄<br>000020青 青<br>000030緑 緑<br>000040灰 灰 | 送信       日本語エディタ COLOR (<br>34 処理回数は 00004 回 行範囲<br>サプコマンド==><br>*1* |
|--|--|
| 000050白 白<br>000060黒 黒<br>000070白 白<br>******** テキストの終了 **** 作   |  |

参考) C ( / 方 / \* の \* \* はファイル全体に対して有効となる。

- (7) COPY サブコマンド
- 例1) テキストの"黄山黄"を、指定した位置へ複写する。



(8) MOVE サブコマンド

例1)テキストの"黄山黄"を、指定した位置へ移送する。

| /                                      | ``` |      |                    |                         |   |    |
|--|-----|------|--------------------|-------------------------|---|----|
| 日本語エディタ COLOR3 (<br>DATA 可変長 - 080 行範囲 | )   |      | 日本語エラ<br>DATA      | ディタ COLOR3<br>可変長 - 080 | (<br>行 範 囲                              | )  |
| サブコマンド==>                              |     |      | サブコマン              | F ==>MOVE               |   |    |
| ····*································  | 作   |      | *********          | テキストの開始                 | · · * · · · · · · · · · · · · · · · · · | ΎF |
| 000010黄 黄                              |     |      | 000010<<           | <u>&gt;&gt;</u><br>     |   |    |
| 000030禄 禄                              |     |      | 000030禄            | 禄                       |   |    |
| 000040火 火<br>000050白 白                 |     |      | 000040次<br>000050白 | 灰<br>_A_                |   |    |
|  | ₽₽  |      | 至1000000           | 茶                       | 7                                       | ₩r |
|  |     | 送信中( |                    | 7 + 7 + 0 + .           |   |    |
|  |     | 1    |                    |                         |   |    |
| 日本語エディタ COLOR3 (                       | )   |      |                    |                         |   |    |
| DATA 可変長 - 080 行範囲<br>サブコマンド>          |     |      |                    |                         |   |    |
| + 1 + 2 + 3.                           |     |      |                    |                         |   |    |
| ******* テキストの開始 ****                   | 作   |      |                    |                         |   |    |
| 000010<br>000020策                      |     |      |                    |                         |   |    |
| 000030緑 綠                              |     |      |                    |                         |   |    |
| 000040火 火<br>000050白 白 帝 荀             |     |      |                    |                         |   |    |
| 000060茶 茶                              |     |      |                    |                         |   |    |
| ******* テキストの終了 ****                   | 作   | )    |                    |                         |   |    |

(注) Bは直前に、Aは直後に挿入することを意味する。

(9) その他のサブコマンド

以下にその他のサブコマンドとして機能の説明を行いますが、これら以外のサブコマンドま たは詳しい説明は、「日本語情報処理日本語エディタ説明書」を参照のこと。

- ① Delete : ファイル全体に対して文字列、行削除を行う。
- ② LNED : 行番号を直接修正し、その行番号に相当する位置へテキストを移送する。
- ③ TRaNSfer: ある任意の位置に外部ファイルを挿入することができる。挿入位置はTA, TB行サブコマンドによる。
- ④ IDENT : 常に一定のコメントを、ある任意の位置にセットする。セット位置はI行サ ブコマンドによる。
- ⑤ MASK : 直接編集等により、テキストの修正が行われたとき、そのテキストに対して、 自動的に固定情報を付与する。
- ⑥ FIRSt : 文字列サーチで、テキストの先頭のみを意識してサーチすることができる。
   例 L<sub>□</sub> / ∧ああ / この場合の " ∧ "が規定値で、この文字の変更を行うものである。
   例 FIRS □ # → L<sub>□</sub> / # ああ /
- RESE : 行番号を設定する。
- ⑧ CANCel : 実行保留になっている行サブコマンドを解除する。
- ⑨ VERIfy : Delete サブコマンド・Delet 行サブコマンドを実行したとき、削除行をブリンキングして確認を行うことができる。
- ⑩ BLIN : 指定した行番号間を編集範囲とする。
- ① BCOL : 指定したカラム間を編集範囲とする。
- ⑩ SCSP : 定常画面の表示を、縦または横に分割する。

## 附録 主なキー機能

| 端末キー   | 機能  |
|--|---|
| HTAB   | カーソル位置を、キー入力可能なフィールドの先頭へ位置付ける。(画面の上から下方向へ移動)<br>カーソル位置を、キー入力可能なフィールドの先頭へ位置付ける。(画面の下から上方向へ移動)  |
| 送 信<br>I<br>I  | 修正&再表示(画面上で、直接編集等を行った場合、このキーを押すこと<br>によりカレントファイル上の修正が行われる)<br>修正&スクロールアップ。(現在の画面表示を次の画面表示にする)<br>修正&スクロールダウン。(現在の画面表示を前の画面表示にする)  |
| 前除   | カーソル位置の1文字が削除されると同時に、その行の以降の文字が左に<br>シフトされる。(カーソル位置は移動しない)<br>カーソル位置へ新たな文字の挿入が可能となる。文字入力と同時に、その<br>行の以降の文字は右へシフトされる。(カーソルの位置は1桁右へ移動)  |
| $\begin{array}{c} \uparrow \downarrow \\ \leftarrow \rightarrow \end{array}$ | カーソルを上下左右に移動する。   |
| PF9         PF10         PF11         PF12         PF13                      | F(Find)サブコマンドで指定された文字列を、画面内でサーチする。<br>実行保留の行サブコマンドを、全てキャンセルする。<br>テキスト再表示、画面単位で修正以前のイメージを表示する。(直接編集<br>を行って<br>送信<br>を押す前に有効)<br>SHIFTサブコマンドで、SHIF<br>-nを行うと、以降このキーでn桁右へ<br>シフトする。<br>SHIFTサブコマンドで、SHIF<br>+nを行うと、以降このキーでn桁左へ |
|  | シフトする。  |

参考文献) ACOS-6 日本語情報処理 日本語エディタ説明書 日本電気